

平成30年度 消費者教育学生セミナー 実施要領

平成30年6月

主催：日本消費者教育学会
独立行政法人国民生活センター
後援：消費者庁、文部科学省

1. 目的 消費者教育に関する研究の推進を支援するとともに、大学間の交流を通じて消費者教育への理解を深める
2. 対象 大学生・大学院生ほか
3. 日時 平成30年9月6日(木)～7日(金) 開講13:00 / 閉講15:30
4. 予定人員 72名
5. 会場 独立行政法人国民生活センター相模原事務所研修施設
〒252-0229 神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-1 TEL: 042-758-3161
http://www.kokusen.go.jp/hello/map_sagamihara.html
(JR横浜線 淵野辺駅南口から徒歩20分)
<宿泊> 同上
6. 主催 日本消費者教育学会、独立行政法人国民生活センター
7. 問合せ先 独立行政法人国民生活センター教育研修部教務課
担当：栗原 香織、山之内 優花、近藤 由夏
責任者：教育研修部長 青木 正典
〒108-8602 東京都港区高輪3-13-22
TEL: 03-3443-6207 FAX: 03-3443-6201

8. カリキュラム

<第1日>

- 12:30-13:00 受付
- 13:00-13:15 開講・オリエンテーション
- 13:15-13:45 講義「消費者市民社会における消費者の役割～成年年齢引き下げの動向を踏まえて～」
梶山女学園大学教授・日本消費者教育学会長
東 珠実

自立した消費者を目指すには、被害に遭わない消費者としての主体形成と、被害のない社会に向けた消費者の参加が重要であることを学びます。
消費者市民社会の構築のためには、一人ひとりの役割が重要であることについて気付く契機とします。

- 13:45-14:05 アイスブレイク（自己紹介・チョコレートの食べ比べクイズ）
- 14:05-14:15 <休憩>
- 14:15-14:55 講義「ここが特異だよ、日本の消費者～海外比較から～」

京都大学法学部准教授
カライスコス・アントニオス

ヨーロッパの消費者保護法制について日本との違いについて理解し、日本の消費者の特性と、これから日本の消費者が強化すべき役割について学びます。

- 14:55-16:00 講義・演習「消費者の力で社会課題を解決するアクティブラーニングの手法」
特定非営利活動法人 開発教育協会

若者が社会課題を自分の問題として引きつけて考え、これからの社会を変革していく力を身に付けるために必要な手法について学びます。特に、学校教育で注目されているアクティブラーニングの手法を知り、講座後半のワークショップの提案で活用できる力を身に付けます。

16:00-16:10	<休 憩>		
16:10-18:00	ワークショップ I 「テーマ：みんなでつくる消費者市民社会のための消費者教育の提案」		
	① テーマの説明とワークショップの進め方		公益財団法人消費者教育支援センター 柿野 成美
	② グループディスカッション（意見交換とプレゼン内容の検討）		
	アドバイザー講師：		
	椋山女学園大学	東 珠実	東京家政学院大学 小野 由美子
	日本女子大学	天野 晴子	消費者教育支援センター 柿野 成美
	東京経済大学	小木 紀親	大阪教育大学 鈴木 真由子
	大阪教育大学	大本 久美子	消費者教育支援センター 中川 壮一
	就実短期大学	小田 奈緒美	札幌学院大学 橋長 真紀子

グループに分かれて、消費者市民社会実現に向けた消費者教育の具体的な提案を行います。講義・演習で身に付けた知識・技能を、グループごとの対話によって深め、新たな提案としてまとめ、アドバイザー講師の支援のもと、2日目の発表につなげていきます。

18:00-18:20	チェックイン・移動
18:20-20:00	夕 食（懇親会）
20:00-21:00	グループ別討議

<第2日>

7:30- 8:30	朝食
8:30- 9:00	チェックアウト
9:00-12:00	ワークショップ II グループ活動（教材・プレゼン資料の作成） アドバイザー講師：ワークショップ I と同じ
12:00-13:00	昼 食
13:00-13:20	プレゼンテーション準備
13:20-14:50	グループ別プレゼンテーション（10分×8グループ）
14:50-15:10	講 評

椋山女学園大学教授・日本消費者教育学会長 東 珠実

グループごとに、消費者市民社会実現に向けた消費者教育案のプレゼンテーションを行います。発表では、自分以外のグループに1票を投じ、その結果によって最優秀賞を決定します。

15:10-15:30	修了証書授与、閉会
-------------	-----------

* 講師の都合等によりカリキュラムを変更することがあります。

9. 受講方法

- (1) 受講申込 国民生活センターホームページより申込みを受付けます。
お申込みはお早目にお願い致します。
- (2) 締 切 8月20日(月) ※ 定員になり次第、締め切らせていただきます。
- (3) 申 込 先 独立行政法人国民生活センター「消費者教育学生セミナー」係
※ 「14. 申込先 WEB サイト」に示す WEB サイトからお申込みください。

10. 参加費等 本セミナーは**1泊2日の宿泊研修**です。受講料は無料ですが、以下の費用がかかります。
 参加費：6,000円（税込、宿泊費3,830円、1日目夕食（懇親会）および2日目朝食、昼食代2,170円を含む）
 ※ 上記の参加費を別途お知らせする指定の口座へ**8月20日（月）まで**にお振込みください。
 振込手数料は個人負担となります。
11. 受講決定 文書にてお知らせいたします。
 （受講に際してのご案内、振込先なども同封いたします）
12. キャンセルについて 講座受講をキャンセルする場合はできるだけ早くご連絡ください。

<キャンセルの場合の連絡先>

独立行政法人国民生活センター教育研修部教務課
 担当：栗原 香織、山之内 優花、近藤 由夏
 〒108-8602 東京都港区高輪3-13-22
 TEL：03-3443-6207（平日9:30～18:00） FAX：03-3443-6201

<キャンセル時の返金等について>

[参加費を振込済みの場合]

キャンセルの連絡日時	返金等について
～9月3日（月）15:00まで	お振込みいただいた参加費（6,000円）より、振込手数料を差し引いた額を返金します。 * ご指定の口座に振り込みます。
9月3日（月）15:00以降	お振込みいただいた参加費（6,000円）より、食事代（2,170円）及び振込手数料を差し引いた額を返金します。 * ご指定の口座に振り込みます。

[参加費をまだ振込んでいない場合]

キャンセルの連絡日時	返金等について
～9月3日（月）15:00まで	特に費用は発生しません。
9月3日（月）15:00以降	食事代（2,170円）を全額お支払いいただきます。 * 指定の口座にお振込みください。振込手数料はご負担願います。

<食事の提供について>

提供事業者：クリーン工房
 TEL：042-758-3161（平日9:30～18:00）
 責任者 高平 英典 担当 澤 泰章

13. 申込先 WEB サイト

<URL> <http://www.kokusen.go.jp/seminar/info.html>

日本消費者教育学会 平成30年度消費者教育学生セミナー実行委員会

○委員長：柿野 成美（消費者教育支援センター）、東 珠実（相山女学園大学）、天野 晴子（日本女子大学）、小木 紀親（東京経済大学）、小野 由美子（東京家政学院大学）